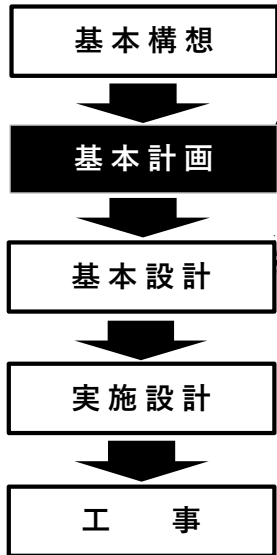


今後の進め方



基本計画

県民意見の集約

導入施設の検討

【ステップ1】複数プランの設定
(比較検討プラン原案)

アフターコロナ対応への見直し 情報収集・分析・検討

見直し案の作成

県民意見の聴取

現在

【ステップ2】複数プランの評価

【ステップ3】プランの選定

基本計画素案策定

パブリックコメント等

基本計画公表

県民の皆様からお聴きした意見を基に公園への導入施設を検討しました。
【比較検討プラン原案の作成】

※見直しの方向性を踏まえアフターコロナに対応した施設となるよう見直しを行ってきました。

(※見直しの方向性については、本紙第8号参照)

比較検討プラン原案でお示している複数の公園プラン・野球場のタイプについて概算事業費や経済波及効果等を比較検討した上で選定を行い、基本計画を策定します。

ご意見をお待ちしています！

遠州灘海浜公園(篠原地区)について、メールやフェイスブック等にて、ご意見等をお寄せください。



Facebook (フェイスブック) やってます！

寒い日々が続きますね* 家でノンビリ Facebook はいかがですか？
Spark! 「遠州灘海浜公園(篠原地区)」で検索してみてください。
皆様からのたくさんの「いいね！」をお待ちしております。



県では、引き続き、県民の皆様や県議会に機会あるごとに情報をお伝えし、ご意見をお聴きしながら公園基本計画の策定を進めていきます。



SPARK NEWS

令和3年12月14日
発行：静岡県公園緑地課
vol.13



公園基本計画の作成に向け プランを見直しました！

遠州灘
海浜公園
(篠原地区)

■ 静岡県交通基盤部都市局公園緑地課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号
TEL : 054-221-3626
FAX : 054-221-3493
E-mail : shinohara@pref.shizuoka.lg.jp
URL : <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-560/index.html>



県ホームページ



フェイスブック



■ 浜松市都市整備部公園課

〒430-0923 浜松市中区北寺島町617-6
TEL : 053-457-2353
FAX : 053-457-2164
E-mail : kouen@city.hamamatsu.shizuoka.jp

「Spark News」は、遠州灘海浜公園(篠原地区)に関する最新の情報等をお知らせする広報紙です。

◆メールでのご意見もお待ちしております！

■ 調査検討・見直し案作成の進め方

プロセス1
情報収集

プロセス2
分析

プロセス3
検討

プロセス4
見直し案
作成

🍷 調査検討の結果（概要）


全庁的な見直しの方針に基づきアフターコロナへの対応や官民連携に関する調査検討を実施しました。

アフターコロナに関する調査（41施設）


調査対象	調査概要
公園施設	配置計画や大規模な構造の変更の有無について調査を実施
設備機器	非接触、密の回避、換気、IT技術活用、衛生面等の5項目に分類して各施設に導入されている設備機器について調査を実施
空間活用	飲食店やカフェといった屋外スペースの活用や、オープンオフィスやグランピングなど従来と異なる使い方をしている公園について調査を実施



感染症対策



空間活用
大和リース様提供



空間活用
Snowpeak 提供

プロセス1・情報収集

プロセス1・情報収集

官民連携に関する調査（80施設）

調査方法	調査概要
サウンディング型市場調査	県、静岡市、浜松市が主催した調査にて民間事業者と意見交換を実施 参加業種は、建設業、コンサル、不動産開発、金融業など延べ29社
アンケート調査	都市公園内に野球場やスポーツ施設が計画されている施設や、官民連携を導入して整備している都市公園等の5施設に調査を実施



官民連携事例（盛岡南公園）
盛岡市提供



官民連携事例（北海道ホールパーク）
(c)H.N.F.提供



サウンディング型市場調査

プロセス1・情報収集

項目	分析要素
国土交通省の指針※	・都市は、人々のライフスタイルに応じた 多様な働き方・暮らし方の選択肢を提供 していくことが必要
生活様式の変化	・人の接触機会を減らし、密な状態を避けることが必要 ・テレワークや会議など デジタル化の急速な進展
ニーズ・トレンド	・自宅以外のワークプレイス、 ゆとりある屋外空間の構築などの需要拡大 ・公園施設として グランピングやオープンスペースの活用が多い傾向
公園施設への対応	・従来どおりの配置計画や構造で造り、運用方法の変更で対応している
導入の可能性がある設備機器	・非接触：キャッシュレス決済、電子チケット、自動手洗い施設 ・密の回避：CO2センサー、モバイルオーダー ・換気：大型換気設備 ・IT技術活用：リモート観戦、サーモカメラ ・衛生面等：手指の消毒

プロセス2・分析

プロセス2・分析

項目	分析要素
官民連携方式を採用する理由	・最新機能を有する施設導入や運営管理の ノウハウ・アイデア等の民間活力を活用 した公園の魅力向上や価値の創出 ・民間側で公的施設と民間施設を 一体的でスピーディな施工 ・活動団体や大学等と協働した 地域連携・持続可能な公園経営
財政負担	・効率的な公共施設の整備・管理運営により コスト縮減が可能 ・施設整備費が割賦払いとなるため、 財政支出の平準化が可能
民間事業者の意見	・行政から公園の コンセプトを提示 してもらえれば具体的な話が進む ・公共、公益性を重視しながらも、 利便性向上施設等に民間の提案が活かされる手法が望ましい ・篠原地区は公園の規模が大きく、立地が良いので、 導入施設の組み合わせによっては収益性が見込める

※デジタル化の急速な進展やニューノーマルに対応した都市政策のあり方検討会 中間とりまとめ（2021年4月6日）【国土交通省】

検討結果
アフターコロナ、ウィズコロナに対応するための 配置計画や大規模な構造等の変更 をしている事例は無く、既存施設への 設備機器の追加や運用方法の変更 による対応であった。
方針
・ 検討の結果、アフターコロナに対応するための「公園の配置計画に関する比較検討プラン（原案）」の修正は必要ない。 （比較検討プラン(原案)については、本紙第6号参照） ・ 設備機器の設置や運用方法については、設計時に検討する。

プロセス3・検討

プロセス3・検討

検討結果
・本公園における 官民連携手法の導入の可能性 があることが分かった。 ・行政が公園の コンセプトを提示 することで、民間がより具体的な検討を進めることができる。
方針
基本計画を策定し、改めて民間事業者と対話をしながら、官民連携の導入についてより具体的な検討を進めていく。